

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144280	公害防止対策事業費
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-1	環境の保全		
	施策	3	公害の防止		
目的	公害の発生防止				
対象	公害防止関係法令対象事業所、公害防止協定締結事業所、公害原因となり得る事業所、苦情地点、河川				
意図	法令遵守、社会規範の尊重を推進することにより、公害発生がなくなる				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	○各種公害関係の測定、調査の実施 ○公害防止関係法令対象事業者への立入調査 ○公害防止関係法令対象事業所への改善指導等 ○測定結果に基づく公害防止協定締結事業所への改善指導 ○水質事故及び水質異常対応 ○公害防止パトロール ○公害に関する苦情相談 ○放射性物質濃度測定				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 悪臭測定	延べ箇所数	計画	20	25	
		実績	0	0	
② 水質測定河川・公害防止協定締結事業所、騒音、振動測定	地点	計画	94	91	
		実績	96	91	
③ 公害防止関係法令に基づく事業所立入調査	事業所数	計画	43	42	
		実績	41	43	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 悪臭苦情件数	件	目標	25	25	
		実績	20	52	
② 公害防止関係法令基準公害防止協定基準遵守率	%	目標	100	100	
		実績	90.4	90.9	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
化製場に起因する悪臭発生に伴う苦情については、市は当該事業所に改善勧告を発令しており、当該事業所から臭気処理方法の変更など悪臭対策の改善計画が提出されており、処理施設や付帯設備の変更、導入を行っている最中であり、今年度、一般苦情が増加した（成果指標の目標が達成できなかった）原因は、設備導入などの変更して講じた臭気処理によって十分に臭気を処理できていなかったことや、昨年夏季と比較し、猛暑であったことが考えられる。現在、処理不足について改善対策中である。 公害防止関係法令基準公害防止協定基準遵守率については、事業所の協定で規定する自主による定期測定及び市による排水水質検査の結果、9事業所で協定基準を超過しており、事業所ごとに超過した内容について適宜指導を行った。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
環境の保全のため公害の発生を防止することが重要であるが、このことは成果に現れにくいものである。河川水質検査等による環境の現状把握、事業場への立入調査と改善指導等、水質事故等の対応、公害防止パトロール、公害に関する苦情相談、その他権限移譲に係る事務、放射性物質濃度測定等を実施することで公害発生の防止に努めた結果、市民の健康や生活等に影響を及ぼす大きな事故・事件等の発生はなかった。今後も継続して実施する必要がある。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144280	公害防止対策事業費

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	12,687	11,684		△ 1,003
財源内訳	国・県	8,983	9,057	74
	地方債			
	その他	161	432	271
	一般財源	3,543	2,195	△ 1,348

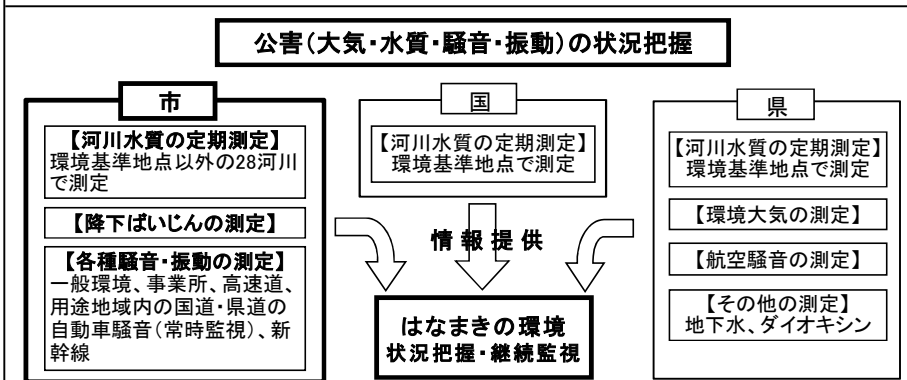
※特定財源の内訳  
 岩石採取計画認可申請審査手数料170、砂利採取計画認可申請審査手数料253、動物飼養収容許可審査手数料9、県事務移譲交付金5,649、市町村消費者行政推進事業費補助金3,353、鳥獣保護区図面作成55、

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標 豊かな自然と生活環境の保全に努める			
事業開始の背景・経緯 ○各種公害調査により汚染状況等の監視・指導を行い、市民の快適な生活環境を保全するため ○環境法令等に関する事務が権限移譲されたため ○福島第一原子力発電所の放射能汚染事故に伴う市民の不安を解消するため			
事業概要 ○各種公害関係の測定、調査の実施 ○公害防止関係法令対象事業者への立入調査 ○公害防止関係法令対象事業所への改善指導等 ○測定結果に基づく公害防止協定締結事業所への改善指導 ○水質事故及び水質異常対応 ○公害防止パトロール ○公害に関する苦情相談 ○放射性物質濃度測定			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

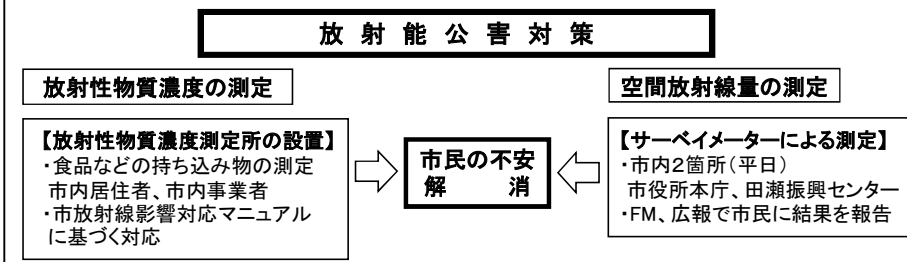
担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 菅原 哲也 内線 256

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



		H30	H29	前年比
河川水質定期測定	28河川	635	644	-9
降下ばいじん測定	2点×12ヵ月	171	171	0
騒音・振動測定	26地点	2,128	2,300	-172
自動車騒音常時監視業務	国道・県道	1,468	1,468	0
合計		4,402	4,583	-181



		H30	H29	前年比
放射性物質濃度測定所臨時補助員	2人	2,526	3,105	-579
放射性物質濃度測定用消耗品		82	30	52
放射性物質濃度測定器修繕費	3台	211	28	183
放射性物質濃度測定所電話料金	2台	69	63	6
放射性物質濃度測定器検定費	ANNA 2台	305	305	0
放射性物質濃度測定器保守点検費	ベクレルファインダー	378	378	0
空間放射線量測定器検定費	サーベイメーター 1台	76	76	0
合計		3,647	3,985	-338

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

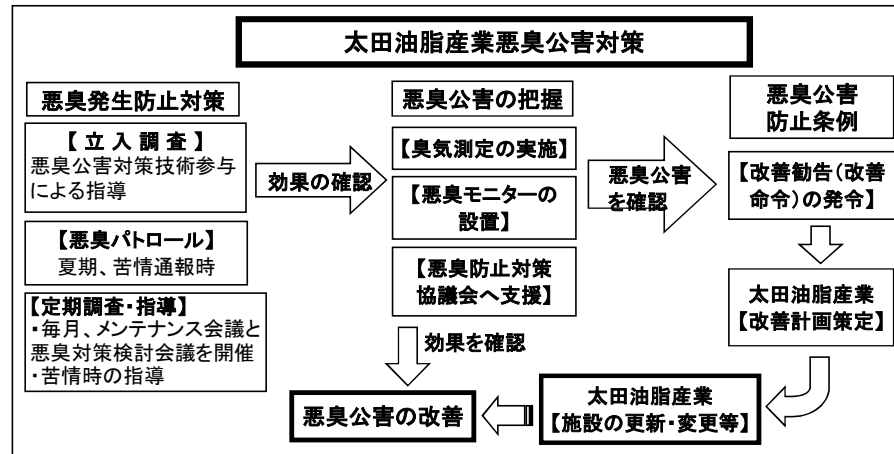
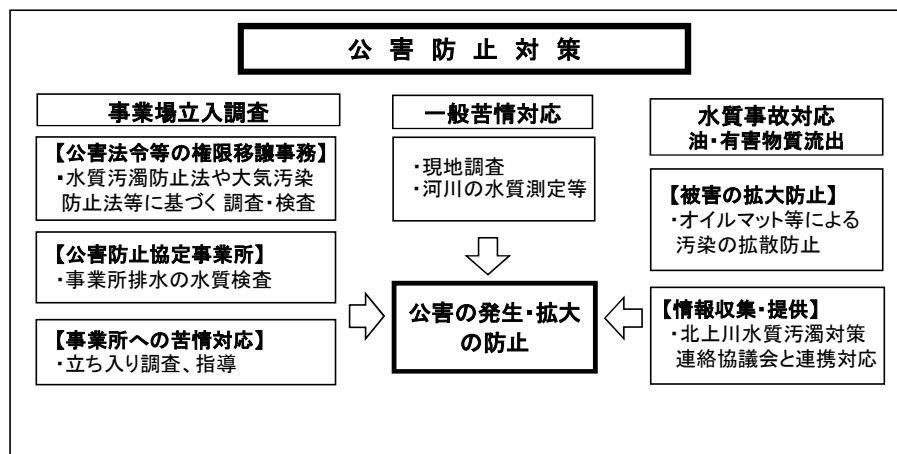
※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	144280	公害防止対策事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



	H30	H29	前年比
事業場立入調査用消耗品	505	162	343
水質事故対応消耗品	49	0	49
騒音計等検定費	30	33	-3
水質検査費(公害防止協定事業所)	141	176	-35
水質検査費等(苦情対応)	260	333	-73
廃石綿処理委託料(立入検査用衣類等)			0
公害対策巡視車リース費(マーチ)	285	285	0
公害対策車維持・修繕費	188	269	-81
公害対策車燃料費(2台分)	70	82	-12
職員時間外手当	—	571	-571
臨時補助員	1,346	1,340	6
職員旅費	100	142	-42
北上川水質汚濁対策連絡協議会負担金	0	20	-20
東北都市環境問題対策協議会負担金	5	5	0
合計	2,979	3,418	-439

		H30	H29	前年比
悪臭公害対策技術参与報酬	年間	300	300	0
悪臭公害対策技術参与費用弁償	2回	89	133	-44
悪臭モニター謝礼(公共施設除く)	23人	184	184	0
悪臭モニター返信用切手		33	34	-1
太田油脂悪臭防止対策協議会補助金		50	50	0
合計		656	701	-45

※ 職員時間外手当について、平成30年度から一般行政経費（生活環境）に統合したため、「—」と表記しています。